

ビール醸造用ホップに適した株拵えの時期

ビール醸造用ホップの株拵えの時期は、3月が適期である

背景・目的

- ホップは、アサ科カラハナソウ属の雌雄異株の多年生蔓植物で、ビールの原料として利用されています。
 - 安定した収量確保のために、ホップの基本管理である株拵えの適期について検証しました。
- ※株拵えとは、前年に伸びた古い根や芽を取り除き、樹形を整える作業のこと（写真1、写真2）。



写真1 株拵え前 写真2 株拵え後

成果の内容

- 株拵えの時期は、3月に行うほうが4月に行うよりも開花日、収穫日が早く、収量が多くなる傾向がみられます（表1、図1）。
- 株拵えの時期を3月上旬と3月下旬で比較しても、生育ステージ、収量に差はみられません（表2、図2）。

表1 各生育ステージの時期(2023年度調査)

試験区	株拵え	開花日	収穫日（1回目）	収穫日（2回目）
3月下旬区	3/28	5/21	7/12	8/16
4月中旬区	4/11	5/29	7/14	8/17
4月下旬区	4/27	6/21	8/17	- ²

² 4月下旬区は台風の影響を受け、収穫は1回のみ

表2 各生育ステージの時期(2024年度調査)

試験区	株拵え	開花日	収穫日（1回目）	収穫日（2回目）
3月上旬区	3/10	5/21	7/9	8/21
3月下旬区	3/22	5/21	7/9	8/21

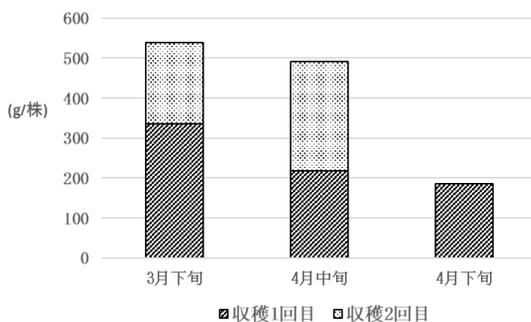


図1 収量（2023年度調査）

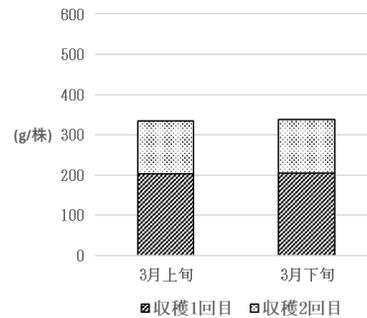


図2 収量（2024年度調査）

成果の活用方法(又は期待される効果)

- ホップの収量、品質安定のための基礎データとなります。
- 株拵えの作業期間が1か月確保出来ることが明らかとなったため、労力の分散が図れます。

留意点

- 株拵えは、新芽発生後、葉が展開し細根が発生する前に実施します。
- 供試品種「ナゲット」を用いた黒ボク土（造成相）での結果になります。
- 本成果は宮崎県小林市野尻町で試験栽培したホップの調査データを参考に作成したものです。

関連研究成果カード：2025年整理番号28

関連事業名：県内産原料用ハーブ生産に向けた新たな栽培技術の開発事業(県単)

研究期間：2022～2024年度